



目次／連月カレンダー／偉人のことば … 1

教えて、先生! 特別編 … 2  
東京都私立学校展に行ってきました

Y's NEWS／吉田のことば … 5

学校法人会計を読みこなそう(中級編) … 6  
第4話 資金収支は毎年トントン?!

School Management Review … 8  
政策決定過程を見学してきました

2018年10月吉日  
No.52

## 2018年10月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

## 2018年11月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		



## 偉人のことば

### 明日ありと思う心の仇桜 夜半に嵐の吹かぬものは

(親鸞)

浄土真宗の開祖である親鸞は9歳で仏門に入りました。

彼がその決心を胸にお寺の門をたたいたのは夜遅い時間だったため、「今日はまだ遅いから、明日、得度式を挙げよう」と言われた幼き親鸞がその場で詠んだのがこの和歌であるといわれています。

明日、美しい桜を見ようとしても、今晚嵐で散ってしまうかもしれない。だからこそ今、なすべきことをやり遂げる必要がある、と。

人の怠け心は、つい「明日があるから」と先延ばしを許しがちです。しかしながら、その一瞬を大切にできなければ、明日もまたきっと、大切にすることはできないのではないのでしょうか。

今年もまた、多くの災害に見舞われている日本、そして世界各国。目の前の一瞬を大切にすることの積み重ねが、明日を創っていくのではないのでしょうか。

# 教えて、先生！ 特別編

## 東京都私立学校展に行ってきました

去る8月18日(土)・19日(日)は東京と大阪で私立学校展(私学展)が同日開催されました。弊社は現在、大阪を中心に活動しておりますので、大阪の私学展はなじみがあるのですが、さて東京の私学展はどんなふうに行われているのだろうか…？そこに学校経営のヒントはないのだろうか…？！と思い立ち、「東京都私立学校展」(以下「東京私学展」と記します)にお邪魔することにしたのでした。



ご存知の通り、東京都は私立学校の存在感が特に大きい地域です。今回の東京私学展には中高416校、小学校54校の私立校がブースを出展されていました。HPには「東京都内の全ての私立小学校・中学校・高等学校が集まる唯一のイベント」とも記載され、相当な規模のイベントであろうことは事前に予測できました。



【会場入口にて】

しかしながら当日はその予想をはるかに上回る盛況ぶりでした。10:30に東京駅に到着し、徒歩数分で東京国際フォーラムへ、その建物の中に入ってすぐのエスカレーターを降り、入口に続く場所に目をやるとそこにはものすごい行列が…。会場をぐるりと囲むように大人と子どもが入り混じって並んでいました。

会場は地上階よりもやや低めに位置しており、しかも上部はガラス張り。行列の最後尾を探しながら歩いていると、会場内の様子、すなわち混雑の様子がよく見えました。会場全体に人が溢れかえってはいるものの、やはり学校によってその渋滞度？には差があり、人気校と思われる学校にはすでに長蛇の列ができていました。

【上階から見た会場内の様子】



夏休み中、かつ週末のイベントということで、行列に並んでいるのはほとんどが親子連れ。しかも、両親揃って参加しているケースがとても多く見られました。大阪の私学展では子ども同士、あるいは母親と子ども、といった参加者が多いように感じますので、東京私学展は大阪に輪をかけて真剣度が高いように感じました。おそらく出展する各私学校も、また参加される保護者や子ども達も、このイベントを重視していっしょなのでしょうね。



【混雑する会場内を縫うように進みます】



各校のブース前には学校関係者が何名かいらっしゃって、パンフレットを勧めてくださいます。ただ、押しつけがましいケースは全くなく、自校の名前を呼びかける程度の優しいPRをされていました。一方、ブース内では熱のこもった説明や相談が行われていて、当然のことながら、保護者や子どもたちはある程度志望校を絞って来場していることも感じ取れました。



【ブースの様子】

ブースにはポスターを貼る以外にもいろいろな工夫がありました。大型テレビに学校の映像を流したり、相談用の椅子の背もたれに各校独自のカバーをかけたり、あるいは都心からやや距離のある学校では「〇〇駅から△分」といった情報を掲げたり…強みを訴えながら弱みを克服しようとされている様子がよく分かりました。



【椅子の背もたれに制服のアレンジメント】

とにかく人が多い中、会場全体をひと回りするだけでも大変だったのですが、これだけの情報では物足りない！と、このイベントを主催されている方に突撃インタビューを試みたところ、アポなしの取材にもかかわらず快く応じてくださいました！ご対応いただいたのは本イベントの主催者である一般財団法人東京私立中学高等学校協会常任理事であり、東京私学教育研究所長でもいらっしゃる須藤勉様です。

—会場の熱気に驚きました。毎年こんなにすごいんですか？

はい、毎年こうですね。今の時間(11時30分ころ)はお昼前なのでまだましな方かもしれませんよ(笑)。今日も開場前から並んでおられました。ビル管理サイドからの要請もあって、危険回避のために入場制限をかけているんですよ。去年も5万人以上来場されていますし、今年もそのくらいにはなるんじゃないでしょうか。

—5万人！それはすごいですね…学校によってはブースに行列ができています。

そうなんですよね。他校に迷惑がかからないようにするため、ブースを離れないようにとの指示はしています。

—それ以外の制約は特にはないのですか？

ブースの中であれば何を飾ってもいいことにしています。工業科では自校で作ったバイクを飾っているケースもありました。各校とも特色を表現しようと、学内の進路指導部などではかなり綿密な意見交換をしているようです。

—ブースの出展が「あいうえお順」になっていますね。この工夫、かなり分かりやすいです。

ありがとうございます。あいうえお順にしている他にも、各校のブースを探しやすいように、パンフレットにも縦軸と横軸で探せるように見せ方を工夫しています。ちなみに、不公平がないように、「あ」の場所は毎年変わるんですよ。

—なるほど、それは必要な配慮でしょうね。小学校も参加されていますが、小学校ブースの周辺は正装されているご家族連れが圧倒的ですね。

実はこのイベント自体が面接の一環のような位置づけになってしまっているんですよ。それで正装している方が多いということなんです。来られている方の身なりだけで、小学校に来られている人はすぐ分かってしまいますね。

—このイベントの会場はずっと東京国際フォーラムを使っておられるのですか？

そうです。ただ困ったことに、東京オリンピック・パラリンピックの開催時期がちょうど夏の時期になっていて、その際にはここがブレスセンターになる予定なので会場が使えないんですよ。代替会場も確保が難しく、おそらく再来年は中止せざるを得ないのではないかと、思っています。

ー中止！それは大きな影響が出るのではないですか。

出ると思います。ただ、オリパラでは公立校を含めて学校にボランティアの動員が掛かるはずなので、実は学校も動けないだろう、と想定しています。そしてそのころは大学入試センター試験も変わる時期で、オリパラのボランティア等で英語教育が実践的なものにも変わることも想定されています。東京はすでに「英会話できなければ」という雰囲気になってきています。

ーなるほど、それは他地域にはまだ見られない雰囲気かもしれませんね。他にも東京ならではの特徴はありますか？

東京の募集環境としては公：私で概ね6：4なのですが、実際には55%が私立学校、45%が公立校で、他県と違って私学の方が多いです。就学支援金もかなり充実していて、ご家庭からすると公立校とほぼ差がないと捉えていただいています。隣県からの進学も多く、他県の住民であっても就学支援金が支給されるのも一因です。私学に関して東京は優遇されていると思います。公立と変わらない支出で、面倒見のいい教育をしてくれるということで人気があるのでしょうね。今年も定員割れた公立校がかなり多かったように感じました。

ー私学への人気が高いこともあって、今回のイベントでは皆さん真剣に選んでいらっしゃるのでしょうか。

きっとそうでしょう。今日も中学1・2年、小学5・6年が多く来場しているはずですよ。東京では中等教育学校も多くなってきていますし、学校選択の年齢が下がってきていることを実感しています。

ー大阪との違いはありますか？

そうですね、やはり受験の意識は大阪より早い気がしますね。保護者が自分の子どもに合ったところを選ぶタイミングが早い、ということでしょうか。



【当日会場でいただいた資料等】

東京は完全に特色教育になっていて、その特色も学校によってかなり異なっています。最近は都立ですら特色化を進めていて、都立の中等教育学校は11校も存在していますし、小中高一貫校もできるんですよ。現在、都は理系に特化した小中高一貫校の設置を模索しているんですが、私学側は猛反対しています。理系を十分理解できない年齢で一貫校を選んで、リタイアしようとする際の影響は決して小さくないと思いますから、親の意向だけで行かせる学校として望ましくないと考えているのです。

ーなるほど、一理ありますね。私学はそういった政策提言も行うわけですね。

はい、かなりやっています。施策に関しては反対することもあります、その場合にも必ず理由を示して反対しています。東京都私学部は私学の味方をしてくれますし、東京都行政とのつながりはものすごく大きくて、年に数回の意見交換会も実施しています。

ー行政と良い関係を築きながら、東京の私学は歩んでいかれているんですね。今日はとても勉強になりました！ありがとうございました。



【須藤様、ご対応ありがとうございました】

#### <追記>

東京私学展の翌日、大阪私立学校展にもお邪魔しました。大阪も朝から長蛇の列。東京に勝るとも劣らぬ熱気でした。東京と比べると大阪の方が子ども同士で来場している割合が高いかな？と感じました。そういった来場者層を考慮すると、ブースの展示やお土産にもひと工夫できそうです。私学展に足を運ぶのは進学先を決めかねているご家庭でしょうから、まずは自校ブースに興味を持ってもらう仕掛けができればいいですね。個人的には、写真だけでは伝わらない学校の様子を、動画で伝えてみるのもいいのではないかと感じた次第です。せっかくのイベントですから、よりいっそう訴求力を高めて、自校への志願者を引き付けていただきたいと思います。





～学校経営セミナー開催のお知らせ～

## PDCAで成功させる学校改革

～事業計画と学校評価をとことん活用する～

PDCAとEBPMは、第3期教育振興計画において今後の教育政策のキーワードとされています。成行ではなく、計画性をもって学校経営を行うことは、先行き不透明な現代においては必須の考え方です。学校法人のあるべき姿に向かうための学校評価と事業計画の活用法を学ぶ本セミナー、ぜひご参加ください。

<日時>2018年10月5日(金)14:00～17:00

<受講料>お1人様5,000円(消費税込)

<場所>NSEリアルエステート梅田店

プレミアムパスポート対象講座です！

(〒530-0057 大阪市北区曽根崎2-5-10 梅田パシフィックビル5階)

／JR大阪駅・地下鉄梅田駅より徒歩5～6分

## 吉田のことば



ワイズコンサルティング代表の吉田がよく口にする言葉をご紹介します。

## 絶望と絶望の擬態とを厳しく区別しなければならない。

これは私が高校生の時に会った言葉です。明るく能天気(?)毎日を過ごしていた当時の私ですが、それでも進路や進学のことにも悩んだり、部活動のこと、友人のこと、家族のこと、はたまた恋愛のこと(!)と、悩みもまた尽きませんでした。この言葉とどうやって出会ったのか、そのいきさつはもはや遠い記憶の彼方なのですが、ささいな悩み事でこの世の終わりであるかのごとく落胆していた自分が、「絶望」ではなく「絶望の擬態」でしかないことにふと想いが至り、本当に絶望するまでは頑張らねば、と気合を入れなおせたことははっきりと覚えています。ちなみに、絶望とは目標を達しようとする意志の所産であり、絶望の擬態とは怠惰の自己弁解に過ぎない、というのがその言葉に出会ったときに書かれていた定義だった…と記憶しています。

新！課題型のロジカ式プログラミングドリルで

低学年～高学年まで

## プログラミング教育のお悩み解決！

2020年から必修化になるプログラミング教育。正直多くの先生方は頭を抱えておられるのが現状ではないでしょうか？そこで...大阪府池田市で全公立小学校のプログラミング教育を一任されるNPO法人ロジカ・アカデミーが、効率的にプログラミングとその教え方を学ぶ教材を開発・提供することで、悩める先生たちをお助けします！（画像は現在開発中の教材イメージです）



サンプル教材のご予約  
および活動のご支援は  
こちらから！



<https://logica.academy>

特定非営利活動法人ロジカ・アカデミー

# 学校法人会計を読みこなそう(中級編)

## 第4話 資金収支は毎年トントン？！

学校法人の決算書には主たる帳票として3種類のものが含まれています。それは「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」「貸借対照表」の3つです。さて御校ではこれらのうち、どの帳票をご覧になる機会が最も多いでしょうか？私の経験上、理事会を含め会議等で提示される頻度が最も高いのは「事業活動収支計算書」です。この帳票は学校にとっての経営成績を示すものですから、頻繁にチェックしておくべきものであり、実際のところ、各校においてもその意図からしばしば確認がなされているものと思われま

す。それでは「資金収支計算書」はいかがでしょうか？こちらも理事会等で提示されることは確かにありますが、その中身について詳細を確認されるケースはあまり多くない印象があります。実は学校法人の決算書類中、「第一号」様式とされているのはこの資金収支計算書なのですが、そのわりに存在感がやや薄い、と感じておられる学校法人関係者もいらっしゃることで

しょう。ただそれはこの帳票の重要性が低いからではなく、事業活動収支計算書との情報の重複が多いからです。収入においても支出においても、多くの勘定科目(項目)が両方で重なっていますから、事業活動収支計算書で確認した事柄と同じようなことをもう一度確認するのは非効率だ、との判断からこのような取り扱いがなされているのだらうと思います。

一方で気を付けねばならないのは、**資金収支計算書のみでしか表現されていない情報**もある、ということです。つまり、資金収支計算書の読み方がよく分からない状態が続いてしまうと、学校経営上、見落としてはならない事柄を見落としてしまいかねません。仮に御校内で資金収支計算書をご覧になる機会が少なくとしても、その見方やポイントはしっかりと押さえておく必要があります。

### ■資金収支計算書に記載される情報とは

実はここが最大のポイント、と言えます。「資金収支計算書」という名称からすると、当年度の収支のみを記載したものの、という印象を抱いてしまうのですが、正確に言えばそうではない、というのがこの帳票の分かりにくいところです。

学校法人会計基準によりますと、資金収支計算書には「①毎会計年度の諸活動に対応する全収入および支出の内容」と「②当該会計年度における支払資金(いつでも引き出すことができる預貯金等)の収入および支出の顛末」が示されることとされています。

「①毎会計年度の諸活動に対応するすべての収入および支出」とは、当該年度の収入と支出だけでなく、その年度内にお金の出入りがないものも計算する、という意味です。例えば、もらえることが確定しているものの年度末までに入金されていない補助金(=未収入金)や、支払うことが確定だがまだ払っていない報酬(=未払金)なども含む、ということです。収支がないのに記載しなくちゃいけない、なんてややこしいことが起きているわけです。

### 弊社発行小冊子「学校経営ブックレット」好評発売中

学校経営ブックレットNo. 1

お申込みは[info@ysmc.co.jp](mailto:info@ysmc.co.jp)または06-6484-7513まで。

学校法人の決算書を読み解く ～新会計基準もこれでバッチリ！～

2017年6月刊行 A5版/全36ページ 定価250円(税別・送料別)

学校経営ブックレットNo. 2

学校における働き方改革 ～長時間労働は正のポイント～

2017年11月刊行 A5版/全25ページ 定価250円(税別・送料別)



また「②当該会計年度における支払資金の収入および支出」には、先ほどの①とは逆に、本来は次年度の活動のための収支であっても、新年度になる前にもらった新入生の入学金(=前受金)やに次年度から発生するリース料(=前払金)が含まれます。

このように、資金収支計算書は掲載されている内容が複雑なのが特徴です。

## ■資金収支計算書の構造とは

資金収支計算書が最終的に示しているのは「支払資金の残高(翌期繰越高)」です。期末時点で使えるお金はいくらあるのか、ということの答えが示されるわけですね。学校法人が所有する金融資産には、支払資金(≒手元資金)以外にも特定資産(≒積立資金)がありますが、日常的な学校運営に用いるのはあくまでも支払資金ですから、その残高を把握することは経営上、非常に重要です。このことから、資金収支計算書の重要性がお分かりいただけるでしょう。

ところが先ほど申し上げたとおり、資金収支計算書には資金の出入り以外の情報も記載されます。例えば未収入金や未払金などは、収入や支出がないのにその金額が計上されるため、支払資金の残高を計算するにはその情報を調整する必要があります。このため、資金収支計算書には「**資金収入(支出)調整勘定**」という科目が置かれ、実際にお金が入りしていないものについてはこの科目で加減算しているのです。これもまた、資金収支計算書の分かりにくさの一因となっています。

さらに、資金収支計算書は大きく「収入の部」と「支出の部」に分けられていますが、毎年度必ず、収入の部の合計と支出の部の合計が一致します。つまり、「収支トントン」になっているのです。どんなに業績が良かろうとも、逆に悪かろうとも、収支トントンになるというのは理由があります。それは、収入の部には**前年度からの繰越額**が加算され、支出の部には**次年度への繰越額**が加算されるからです。単年度の収支のみで収支差額を計算する事業活動収支計算書とは異なり、前年度や次年度の支払資金残高も加味される資金収支計算書においては、収支差額は常にゼロになるのです。この点にもくれぐれもご留意願います。

ここまでの注意点を踏まえて、資金収支計算書の全体構造を改めて確認しておきましょう。

<収入の部> 学生生徒等納付金収入 手数料収入 寄付金収入 補助金収入 資産売却収入 付随事業・収益事業収入 受取利息・配当金収入 雑収入 <b>借入金等収入</b> <b>前受金収入</b> <b>その他の収入</b> <b>資金収入調整勘定</b> <b>前年度繰越支払資金</b>
収入の部合計
<支出の部> 人件費支出 教育研究経費支出 管理経費支出 借入金等利息支出 <b>借入金等返済支出</b> <b>施設関係支出</b> <b>設備関係支出</b> <b>資産運用支出</b> <b>その他の支出</b> <b>資金支出調整勘定</b> <b>翌年度繰越支払資金</b>
支出の部合計

いかがでしょうか。色が付いた勘定科目はそれぞれ先ほど本文中で触れた留意点を示しています。ご参考になさってください。

資金収支計算書を見る際のポイントとしては、当該年度の収入が借入金頼みになっていないかどうか、また支出においても、借入金の返済規模や施設・設備関係支出の規模が計画に比して順調かどうか、といった点を確認することが肝要です。そして、事業活動収支計算書における退職給与引当金繰入額や減価償却額などの資金支出を伴わない費用が資産運用支出に計上され、積み立てられているかを確認しておくことも重要でしょう。

## 今回のまとめ

- ①資金収支計算書にはお金がまだ動いていない取引も一部掲載されていることに注意
- ②資金収支計算書には当該年度以外の情報も加味されていることに注意
- ③資金収支計算書にしか掲載されない情報に特に留意してその内容をチェックしよう



# School Management Review

## 政策決定過程を見学してきました

8月第4週の木曜日に、自民党本部の文部科学部会を傍聴する機会に恵まれ、文部科学省概算要求・税制改正要望に関する議論を目の当たりにしてきました。

最初の議案は傍聴することができず、2つめの議案が始まる少し前に入室が許され、部屋の一番奥へ。部屋には長机がいくつか並べられた島が5つほどあったのでしょうか。そこには20名程度の国会議員さんと30~40名程度の文部科学省職員さんが別々の島に分かれて着席されていました。それ以外に、100名以上?の議員秘書と思しき方々も陪席されていました。

議員さんご本人は会の冒頭には結構いらっしゃったようですが、会が進むにつれ退席される方が1人、また1人と増え、会の終了時点までいらっしゃった議員さんは10人を切っていたような…別の会合もあってお忙しいのでしょうか。

さて本題の概算要求については、エアコンやブロック塀等、施設整備がメインテーマになっているようです。当日の部会でも議員さんから最も多く要望されたのもまさに「エアコン」でした。

### 2019年度 文部科学省概算要求のポイント

【人生100年時代】「Society 5.0」の到来を見据えながら、日本を誰にでもチャンスがふたつある国へと変えていくため、教育再生、科学技術イノベーション、スポーツ・文化の振興により、「人づくり革命」を断行し、「生産性革命」を實現する。

正 数	前 年 比	2019年度 概算要求	前 年 比	前年度	前年度
文部科学省予算	5,843,288億円	5,819,115億円	-0.4%	6,263億円	11.2%

**文教関係予算のポイント 4兆4,103億円 ( 3,700億円増)**

**教育政策推進のための基礎的整備**

- ◆ **新学習指導要領の円滑な実施と学校における働き方改革のための措置等**
  - ◆ 特別支援学校の円滑な実施
    - 高等教養施設整備 1,862億円 (▲13億円)
    - 専門スタッフ・研修人員の拡充 1,449億円 (▲2億9千円)
    - 学校現場における業務改善推進事業 1,329億円 (▲0.2億円増)
- ◆ **大学等の基礎的経費を充実**しつつ、評価や客観的指標に基づくメリハリある部分により改革の推進等を図るとともに、**高度の高度化・国際化を推進**
  - 国立大学改革の推進 1,561億円 (▲33億円増)
  - 私立大学等の改革の促進等 4,779億円 (▲97億円増)
  - 国立高等専門学校の高成長・国際化 659億円 (▲25億円増)
- ◆ **児童生徒等の安全と健康を守るため、学校施設の耐震化、ブロック塀等の安全対策、空調設備等の防災機能強化や、教育研究環境の改善等を推進**
  - 公立学校施設整備 3,452億円 (▲799億円増)
  - 国立大学等施設整備 823億円 (▲47億円増)
  - 私立学校施設整備 531億円 (▲31億円増)
  - 施設工事も関連事業等 291億円 (▲172億円増)

**夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力の育成**

- ◆ **地域と学校の連携・協働を推進し地域力を強化するとともに、地域全体で学校安全体制を構築**
  - 学校安全と地域連携支援プログラム 93億円 (▲12億円増)
  - 学校安全総合支援事業 79億円 (▲11億円増)
- ◆ **英語教育やプログラミング教育、道徳教育など、新しい時代に求められる資質・能力を育成するための支援を充実**
  - 小・中・高等学校を連結した英語教育強化事業 1,216億円 (▲4億円増)
  - 次世代の教育情報化推進事業 1,319億円 (▲0.7億円増)
  - 道徳教育の抜本的改善・改善 42億円 (▲7億円増)

◆ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置拡充やSNS等を活用した相談体制構築など、**いじめ・不登校対応等を推進**

- 24時間対応のいじめ相談ダイヤルの配置拡充 59億円 (▲8億円増)
- SNS等を活用した相談事業 4億円 (▲3億円増)
- 夜間中学校における数学授業の提供推進 0.7億円 (▲0.9億円増)

◆ 変化の激しい時代において、子供たちが新たな価値を創造する力を育成するため、**高大接続改革を推進**

- 「大学入学共通テスト」準備事業 33億円 (▲18億円増)
- 大学入学共通テスト実施準備事業 9億円 (▲1億円増)

**社会の持続的な発展をけん引するための多様な力の育成**

- ◆ **グローバル社会における児童生徒の教育機会を確保・充実**
  - 海外教育施設等の整備推進 132億円 (▲2億円増)
  - アジア高校生交流推進プロジェクト 5億円 (▲0.9億円増)
- ◆ **卓越した博士人材を養成するためのプログラムを拡充**
  - 卓越大学院プログラム 121億円 (▲9.8億円増)

**生涯学び、活躍できる環境の整備**

- ◆ **人生100年時代を見据えて、リカレント教育で社会人が学び直す機会を拡充**
  - 企業コラボレーション人材育成システム構築事業 9億円 (▲新 額)
  - 専門分野における短期・長期の学び推進に向けた社会連携の強化 9億円 (▲新 額)
- ◆ **就学前から卒業まで、特別支援教育の生涯学習化を推進**
  - 生涯学習における障害者の学びの支援 1億円 (▲0.2億円増)
  - 切れ目のない支援体制構築に向けた特別支援教育の充実 29億円 (▲4億円増)

▲文部科学省概算要求のポイントが公表されています。私が傍聴した内容がほぼそのまま…インターネットで入手できますのでぜひともご一読を。

では私学関連の要望は…といえば、部会中には全くと言っていいほどなかったように思います。あえて言うなら、ブロック塀の補修工事等において、それに対する補助制度ができる前に工事をしてしまったり私学に対しても同様の補助が可能になるように工夫せよ、との議員さんの声があった程度です(ただ、これだけでも大切な指摘だと思います)。

与党の部会から政策の議論が始まっていく、昨今の政治行政。私学としてどのような政策を求めていくのか、先を見据えた企画と具体的な働きかけが必要だと感じました。

私学全体の発展を図るため、私学の同業者団体はもちろん、各私学においても具体的な動きや働きかけが大事なのかもしれませんね。

(弊社ブログ「寝ても覚めても学校のこと。」より2018年8月24日付記事を改編し掲載)

## 学校経営のコンサルティングサービス

### 事業計画

「なりたい学校になる」ための取組を支援します。

### 研修・人事制度

「一枚岩の組織に成長する」ための取組を支援します。

### 財務・会計

「学校財産を有効活用する」ための取組を支援します。



未来へつなぐ、夢がある。  
株式会社ワイズコンサルティング/ワイズ税理士・診断士事務所

TEL (06) 6484-7513 FAX (06) 6484-7518 E-mail: info@ysmc.co.jp  
URL: http://www.ysmc.co.jp(会社) http://www.ystax.jp(事務所)  
Facebookページ: https://www.facebook.com/ysconsult

